

佐久市総合計画審議会 第3部会（第1回） 会議録

日時：平成30年6月27日（水）

午前10時～11時30分

場所：佐久市役所601会議室

【出席者】竹内部会長、秋山副部会長、田島委員、磯貝委員、高見澤委員、神津委員

【事務局】土屋企画課長、木下企画調整係長、大井（哲）、大井（実）、丸田

1 開 会

2 議 事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

事務局	<p>【基本目標③】進行管理について</p> <p>今回は、平成29年度の実績評価についてご意見をいただきますが、中間評価であることから、審議の視点として、KPIの推移や事業の成果から、「当該事業は地方創生の実現に当たり効果がある」、あるいは「当該事業はこうしたら効果が上がるのではないか」といったご意見をいただきたいと思っております。</p>
部会長	<p>ここまでの説明で質問等がありますか。</p> <p>それでは、評価報告書21ページから説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標③】(1)若い世代の経済的安定</p> <p>ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減（P21）</p> <p>イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援（P22）について説明</p>
委員	<p>22ページ「イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援」のKPI「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付事業の活用件数」について、活用実績が0件ですが、設定当初対象をどのくらいと想定していたのでしょうか。今はほとんどの子どもが高校を卒業する時代ですが、対象者はいるのでしょうか。対象者がいない部分を支援してもあまり意味がないと思っております。対象者がたくさんいらっしゃって、中学を卒業し、次の学歴、知識を身に着けたいという要望がある人がたくさんいるのなら、いいと思っております。</p>
事務局	<p>対象者については確認します。</p>
委員	<p>高校中退者が対象になるのでしょうか。</p>

事務局	<p>中学校卒業後そのままご結婚されたり、就職されたりという場合もあります。</p>
事務局	<p>やむなく高校を中退されて卒業できなかった方等も対象となっています。</p>
委員	<p>同じくイの「自立支援教育訓練給付事業による資格取得件数」についても、結果として資格は取得できなかったが、入口としてチャレンジされる方はもっといたのでしょうか。それともこれは、チャレンジした人は全て資格が取得できるシステムなのでしょうか。</p>
事務局	<p>この自立支援教育訓練給付金の場合は、旧ホームヘルパーのような介護職員初任者研修や実務者研修と言われていますが、経理事務や医療事務の専門性の高い講座を受けることとなりますので、講座を受ければ認定資格をもらえるようになります。基本的にはその講座に出て、認定資格をもらうことが条件となります。合格、不合格という種のものに対する給付ではありません。</p>
委員	<p>資格を取ろうと思ってチャレンジしたが、諸事情により途中でリタイアしたということは、今のところ実績としてはありませんか。</p>
事務局	<p>もう1つ、「高等職業訓練促進給付金」というものがありますが、そちらの方は看護師などになるためのもので、途中でという方もいらっしゃいます。自立支援教育訓練給付金の方は講座を取れば、という感じなので、講座を受けた後、その職業に就けなかったということもあり得ると思います。</p>
委員	<p>「努力を要する」という評価だが、今後どのような展望で施策、活動をやっていくのでしょうか。目標に比べて実際は相当下位にあると思います。努力はされているとは思いますが。</p>
事務局	<p>今後の方針にも記載がありますように、まずは周知がされていないのではないかとというのが所管での判断ですが、実は昨年度も努力を要するという中で広報をしてきたものの、それが十分周知されていないのだろうという認識のもと、今年度は新たに保育園等との連携に着手するという事で輪をかけていきたいと考えております。これによっても、なおこのような状況が続くとするならば、時代のニーズも含めてこの事業の在り方も検討されると思います。今年度は引き続き周知活動に努めるということで考えていま</p>

	す。
事務局	<p>先程の 22 ページ、イの K P I 「自立支援教育訓練給付事業による資格取得件数」の対象者ですが、ひとり親家庭については、毎年県へ報告を行っているため数値を把握していますが、うち高校を卒業していらっしゃらない方の数は把握をしておりません。</p>
委員	<p>目標値を決めたということは、やはり分母があり、ある程度の推定に基づいて目標を立てたということだと思いますので、平成 25 年度か平成 26 年度に基となるデータがあったはずだと思います。</p>
事務局	<p>自立支援教育訓練給付事業に係る K P I は、計画期間の累計値を目標値としていることから基準値が載っていませんが、平成 24 年度から平成 26 年度までの過去 3 ヶ年の平均実績が 2.6 件だったので、切り上げて 3 件を 5 か年で累計 15 件という目標設定としています。</p>
事務局	<p>高等学校卒業程度認定試験合格支援給付事業に係る K P I については、平成 28 年度からの新規事業で、当時、年間 5 件程度は見込めるのではないかとということで設定しています。</p>
委員	<p>これは漠然と作ったものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>当然予算とリンクしていて、5 件程度の予算を毎年確保しているところからこの目標設定に至りました。</p>
委員	<p>予算確保をしていないと、もし利用があった時に対応できないからということか。</p> <p>自立支援教育訓練給付事業は、平成 26 年度までは平均 3 人の活用があったのに、平成 27 年度から 0 件というのも不思議ではありませんか。何かそこに問題が潜んでいるような気がします。毎年活用実績が 3 人あったところが、急に減ってしまった理由は何なのでしょうか。周知の問題なのでしょうか。</p>
事務局	<p>これは目標を設定した当時と雇用情勢が変わってきているので、その影響もあるかもしれません。今、佐久地域の有効求人倍率が 1.8 ですので、企業さん側が積極的に採用をしているということで、資格がなくても採用という</p>

事務局	<p>こともあるかと思えます。すると、当然下がるという傾向になります。有効求人倍率から見ると、勤めることができないというよりは、逆に自分で仕事を選べるということになっていると思えます。</p> <p>ちなみに母子世帯数は、佐久市の統計で、世帯数となってしまいますが、平成 28 年度で 1,064 世帯あります。年々増えておりまして、例えば平成 20 年度あたりは 985 世帯だったものが、徐々に右肩上がりが増えていきます。統計は平成 13 年度から佐久市のホームページにも載せていますが、増え続けています。</p>
委員	<p>離婚が増えているということなのでしょうか。</p>
事務局	<p>離婚数との相関ですと、未婚母子が増えているならば離婚数との相関はありませんので、そこまでのデータがないのではっきりと申し上げられません。</p>
委員	<p>その辺はまた、データを確認していただけたらと思えます。</p>
部会長	<p>それでは、他にご意見などはございませんか。</p> <p>ないようでしたら、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標③】(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援</p> <p>ア 恋愛・結婚の支援 (P23)</p> <p>イ 安心して出産を迎えるための支援 (P23) について説明</p>
委員	<p>24 ページの主な成果に記載があります「妊婦さんの歯の教室」の利用者の満足度は高いものなののでしょうか。</p>
事務局	<p>確認します。</p>
委員	<p>23 ページのアの主な成果「佐久市結婚支援事業 SAKU♡恋の開催」について、</p>

	<p>参加者が多く、実際に成婚に結び付いていることから、当該事業は必要だと思います。イベント等の情報発信に当たっては、関係機関と連携が取れているのでしょうか。</p>
事務局	<p>イベントには男性の方が多く申し込まれる傾向があります。情報自体は皆さんのところで流れていて、ホームページや新聞など様々なところで情報を得られるように努めています。</p>
事務局	<p>どうしても女性の参加者が少なめになってしまう傾向であるとは聞いています。いずれにしても、成婚数も努力を要するというのですが、平成 28 年度に実施したイベントで、翌年にいきなり成婚というのはなかなか無いと思います。この目標は性質上、均等に上昇するというよりも後年度に成果が現れる形で曲線を描いて上昇していくものだと思います。全体として参加者は順調に推移しているので、今後実績値の上昇が期待できると思います。</p>
事務局	<p>実際に成婚されたという情報がうまく入ってこないのが非常に難しいところ です。</p>
委員	<p>個人情報保護法にも関わってきますからね。</p>
委員	<p>テレビでお見合い番組を見ていますが、結構多くのカップルは成立するけれども、結婚したというのはなかなか聞かないですね。</p>
委員	<p>結婚についての良いイメージが持てるようになればいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>あまり夢を持ち過ぎてもいけないでしょうし。</p>
委員	<p>今朝の朝刊からの引用です。『自民党の二階俊博幹事長が 26 日、東京都内で講演し、少子化問題を巡り、「この頃、子どもを生まない方が幸せじゃないかと勝手なことを考える人がいる」と独身者を責めるような言い方ではあるが、同党の加藤寛治衆議院議員が 5 月、「新婚夫婦に 3 人以上の出産を呼び掛けている」と発言し、批判を浴びたばかり。二階氏は講演で、「皆が幸せになるために子どもをたくさん産み、国も発展していこう」と発言した。』とあります。佐久市もそれを狙っていくということで「SAKU♡恋」などのイベントを進めているのですが、実際は人間性で、ひとりの方が幸せを感</p>

委員	<p>じる人もいることでしょう。戦時中なら国のためにお前たちは結婚しろということもあったでしょうが、今は個人意識の中でなかなか難しい問題だと思います。結婚について、その気にさせるにはどうしたらよいか。昔は皆結婚したがったし、ひとりでいることが恥ずかしかった時代でした。今はひとりでいることを恥ずかしいとは思わない時代になっているという社会情勢の中で、そんな背景も考慮しながらすすめていかなければと、今朝新聞を読んでいました。</p> <p>個人間でやはり結婚の認識が違ふし、結婚生活に対する考えも違ふ。先ほどの離婚数の話と同じですね。離婚数が増えたとなると、結婚はそんなに良いものではないと思ってしまうのでしょうか。</p> <p>今は、子育ても選択肢も価値観も様々だが、若い人たちは賢くなったといえ賢くなったのでしょうか。</p>
委員	<p>人を増やしていくということは期待として使命でもあり、そうしていかないと将来乗り切れない中では、そういうニーズにも何かしらの対策を求められていて、地方創生が謳われてきた訳ですが、おっしゃるとおり、ニーズの変化はどうしようもない気がします。</p>
事務局	<p>出会いがなければ結婚にも至らない。種をまくという意味で、市とすれば、出逢いの場はある程度作りながら対応していくということしかないと思います。</p>
委員	<p>24 ページのK P I 「浅間総合病院における出産件数」の目安値は、母子手帳をもらった件数などが基準になっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>目安値については、過去の平均値をもとに設定しています。数値目標として、合計特殊出生率の向上を謳っていることから、当然、分娩件数も上げていかなければいけないという思いから設定しました。</p>
委員	<p>24 ページの主な成果「『ライフデザイン講座』の開催」の開催回数が少ないと思います。これは保健師が出向き行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>その通りです。平成 29 年度は望月高校と佐久大学に伺っていると聞いています。授業の中に取り込んでやっていただいているという学習の中で、なかなか学校の方のニーズと、こういうことをやっていますよというところの</p>

	<p>周知が学校の方でカバーされていないのかなと思います。</p>
委員	<p>高校は必ずそういう授業はありますよね。中学は少し早いのかな。</p>
事務局	<p>今は中学の方が性教育をかなりきっちりやっているといます。性体験も比較的早まっている部分もあり、中学校である程度母性についてやっていった方が良いということだと思います。</p>
委員	<p>ライフデザインについては、テレビでもたまにやっていますが、若い人の認識が全然追いついていかないという感じがします。早いうちから適切な情報提供が必要だと思います。</p>
事務局	<p>24 ページの主な成果「妊婦さんの歯の教室」について、アンケートなどを実施していないため数値での満足度は分かりかねますが、参加される方々はとても必要性を感じて来てくださっているのではないかと、担当者は感じているとのことでした。</p>
部会長	<p>それでは、ほかにご意見などはありませんか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p>
	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標③】(3) 子ども・子育て支援の充実</p> <p>ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援 (P25)</p> <p>イ 安心して出産を迎えるための支援 (P27)</p> <p>ウ 子育て支援拠点の機能の充実 (P28) について説明</p>
委員	<p>25 ページ、アのK P I「適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合」について、これは昔からこのように実績値が高いのでしょうか。</p>
事務局	<p>お見えにならない方も中には数パーセントいらっしゃいますが、そのような方々に関しては、訪問をさせていただき対応をさせていただいているた</p>

	め、100%を維持しています。
委員	佐久市には待機児童はいないのでしょうか。
事務局	<p>いまのところ待機児童はいませんが、地区によっては、少し離れた保育園に通っていただくというケースがどうしても出てくる場合があります。</p> <p>今は未満児保育が増えてきている状況にあり、保育士の確保が喫緊の課題になってきています。</p>
委員	女性が働く時代になり、働きやすい環境をつくることが大変に重要な課題だと思います。
委員	市では未満児保育の充実に係る施策を行っていないのでしょうか。私の周りでも、子どもを生んで早く勤めたいが、預けられないということで復帰できないという現実があると聞きます。そのような状況が改善できないと、また子どもを作る気分にもならないと思います。
部会長	<p>ほかにはご意見などはありますか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	それでは、次の説明を事務局からお願いします。
事務局	<p>【基本目標③】(3) 子ども・子育て支援の充実</p> <p>エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援 (P29)</p> <p>オ 様々な悩みを持つ家庭への支援 (P29)</p> <p>カ 小中学校の教育環境の充実 (P30) について説明</p>
委員	30 ページ、「カ 小中学校の教育環境の充実」のK P I 「学校教育についての満足度」の目標値が低すぎるのではないのでしょうか。
事務局	満足度調査は2年に1回行っており、「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」の5段階で評価しています。当該実績は、「満足」「やや満足」の合算値を記載していますが、全体の傾向として、「どちらでもな

	<p>い」という評価の方が増えてきています。市民全体にアンケートをとったので、実際は小中学校の教育に関わっていない方の声も入っているので、「どちらでもない」が多くなったのではないかと思います。</p>
委員	<p>31 ページの上段、主な成果の 3 つ目、外国籍児童生徒について、佐久市には一定数いるのでしょうか。</p>
事務局	<p>在籍者数は 18 名です。</p>
委員	<p>広域的に見て、佐久市が多いとか少ないとか分かるもののでしょうか。</p>
事務局	<p>広域圏での比較はしていないのですが、市として支援はしていきます。</p>
委員	<p>少子化の影響で中学校の先生が減少傾向にあり、部活動に制約が出てきており、一部の部活動が希望があっても打ち切りになることが進んでいます。学校の先生の配置は、部活動の経験がある人等、そういうものも考慮しながら配置を考えることができないでしょうか。切実な問題で、子どもが野球をやりたくても指導をしてくれる人がいないので、他の地区の生徒と一緒にやっている等の実態があります。</p>
事務局	<p>文部科学省の部活指導案では、教職の働き方改革で部活動支援員という制度を検討しているそうです。これまでは、外部講師が現場に入り、生徒を引率することはまかり通らなかったが、今度そこは緩和されるという状況の中で部活動をやっていくというような方針です。</p> <p>実際に物事が進む中で、特に小規模校では色々なところでそれがすべて良いのかどうか現場とのすり合わせが出てくると思います。理科支援員もそうですが、大規模校だと教職員数がある程度確保できる。部活動も同じように、大規模校はひと通りの部活動がほぼ持てる状況にありますが、小規模校では顧問が付けられないことがあります。</p> <p>今は子どもが少なくて、運動をしない子もいるようなので、団体スポーツは部活動としては存続が厳しい状況もあります。</p>
委員	<p>少子化の影響が色々なところに出てきているのですね。</p>
委員	<p>先ほどの 30 ページの「学校教育の満足度」について、アンケートの結果、「満足」の人もいるということだが、具体的にこれが満足だというような内</p>

	<p>容までは聞いていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>何が満足かは聞いていないが、自由記載欄があり、そういうところで書いた人はいるかと思いますが、今、手元にそれがないので分かりかねます。</p>
委員	<p>それを聞き、分析をしなければ意味がないと思います。</p>
部会長	<p>ほかにはご意見などはありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標③】(4) 仕事と生活の調和の実現</p> <p>ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援 (P31)</p> <p>イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発 (P31) について説明</p>
委員	<p>この施策の掲載位置は4番目ですが、こんな後ろの方に放っておいて良いのでしょうか。もっと前にあって良いと思います。今の時代は、女性は仕事を持つ時代であるので、この施策を推し進めなければ合計特殊出生率は上昇しません。</p> <p>アのKPI「社員の子育て応援宣言！登録企業数」は、直接的な施策でないような気がします。イの意識の啓発も、目標ははるか先にあるような感じがします。</p> <p>昨年の9月に男女共同参画のシンポジウムがあり、そこへ行ったときに印象に残ったのは、市内企業の総務課長がプレゼンをされたのですが、要は、女性が育児休業を取ることにについて職場の理解が進んでいるという趣旨だったと思います。もっと力を入れていくのだったら、それをもっと広める方法がよい。国の施策で、厚生労働省の方でも、助成金等も整備されつつあるが、それと相まって、単に事業を増やすという昔的なことでなく、更に具体的に企業が使える制度を周知する、あるいはそういうものへ助成などをした方が良いと思います。少し取組が弱すぎると思います。</p>
委員	<p>実施してくれなくては困るので、育休がどれくらい取れているか、産休が</p>

委員	<p>どれくらい取れているかということで表彰する方が現実的かもしれませんね。</p> <p>今まで「社員の子育て応援宣言！」の制度を知りませんでした。私たちの職場ですぐにでも手を挙げたい気もしました。そういう実績値が出てくると私たちとしても分かりやすい。実際に現在3人程育休を取っていて、明けて戻ってくるとスタッフでもとても大変な部分もあるので、そのあたりを市が援助してくれるという話があるとするなら、とても興味深いと思います。</p>
委員	<p>上手く対応している企業もあるわけで、そういうところをもう少し広げていく方法を考えて欲しいです。大変重要な課題ですし、もっと掲載位置を前に持って行って積極的に取り組んでもらいたいと思います。</p>
委員	<p>ワーク・ライフ・バランスに係る取組を上手く実施している事業をモデルとして示せると良い。例えば1度に2～3人が産休に入り、その時どう対応したかなど。子どもは産んでもらわなければならないし、子育てははしなくてはならない。それらが滞りなくできるようにサポートした時に評価してあげることが大事だと思います。</p>
委員	<p>そういったことを皆さん知りたいでしょうし。私の職場でも産休に入ったスタッフが1人いましたが、その時、人員が少ない中でどのようにやり繰りするかは大きな課題でした。妊娠はコントロールできるものではないので、このような局面を、どのようなアイデアでどのように切り抜けていったかを知りたいところもあると思います。</p>
部会長	<p>ほかにはご意見などはありますか。</p> <p>ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標③】数値目標（P21）について説明</p>
委員	<p>21 ページ、数値目標の今後の方針欄に記載があります「福祉医療費給付金」</p>

事務局	<p>について、支給対象年齢が 18 歳までと変わりましたが、この 8 月から「窓口無料化」となります。しかしながら、完全な無料化ではなく 500 円は支払います。時代の流れとして完全無料化へ進めていく考えは市としてあるのでしょうか。それともやはり一律 500 円の支払いは継続していくのでしょうか。全国的にみると、かなり無料化が進んでいると聞いています。</p> <p>長野県の中で、ある程度システムの的にも 500 円は外せないものということだそうです。ただここ数年で、支給対象年齢の拡大が中学生から 18 歳まで進んでまいりましたので、そういう方向へは行っているということではあると思います。</p>
部会長	<p>予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。それでは、【基本目標③】についての意見は、事務局において取りまとめ後、部会長一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>本日いただいた意見は、他の部会で出た意見と一緒にまとめさせていただいて、まとめたものを委員の皆様にお返しさせていただきます。</p>

(2) その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」

後日日程について通知予定